

PostScript カラープリンタをお使いのお客様への注意点

注意点 1 (モノクロ指定印刷)

CLC/CP/iRC の全機種において、カラーやグレーの混在しているデータを、モノクロ(白黒)で印刷させる場合、最適な印刷方法を指定しないと、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)の4色のトナーを用いて印刷されてしまうことがあります。

特に、次のような場合はご注意ください。

- 1.文書内のビットマップ画像(TIFF,BMP,JPEG や EPS データなど)、図、グラフ、表などが白黒であっても RGB データとして挿入してあるものを印刷する場合
- 2.見た目が白黒画像であっても、下にカラー画像が隠れている場合

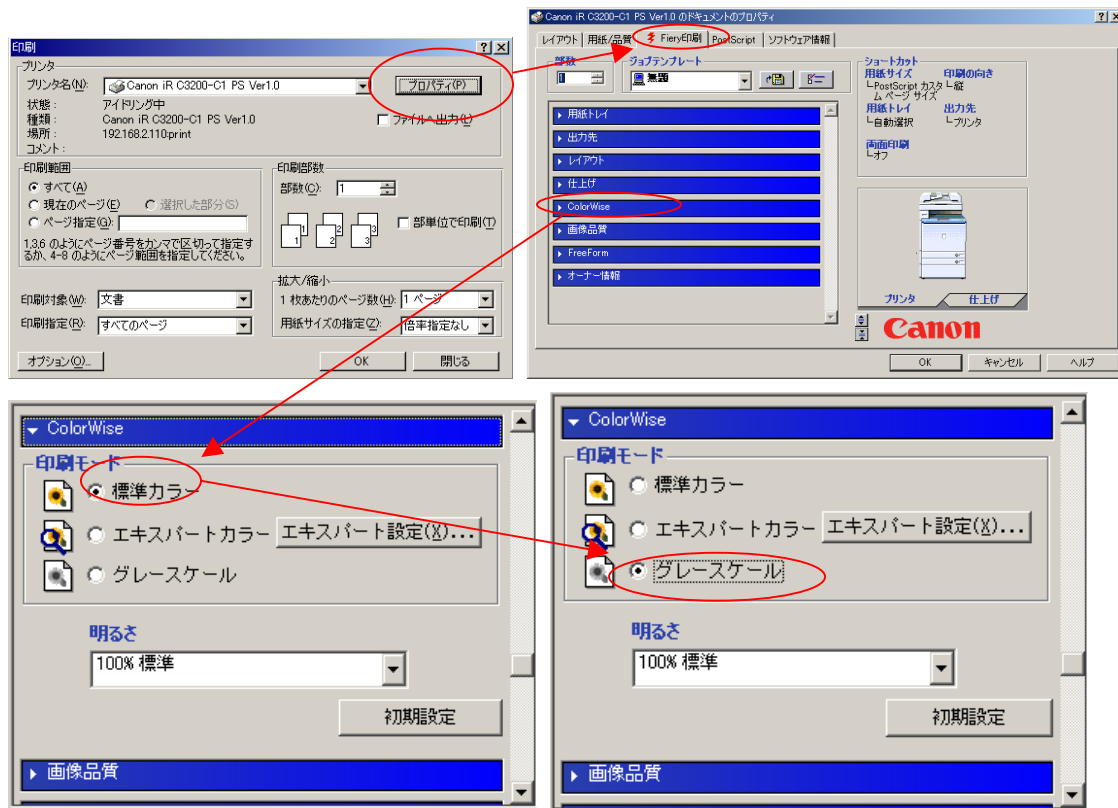
カラーやグレーの混在しているデータを、確実にモノクロ(白黒)指定で印刷する場合(モノクロで印刷する場合の最適な印刷方法)については下記操作手順を実施いただけますようお願いいたします。

ただし、印刷画面については、アプリケーションによって、表示が異なりますのでご注意ください。
また、PS-NX40W/400W/650 と、カラーネットワークプリンタボード A1/B1 をお使いのお客様は、製品に同梱されていた CD に入っていたプリンタドライバをご使用いただくよりも、[キヤノンホームページ](#)に掲載されている最新のものを、ダウンロードしてお使いいただくことをお勧めいたします。(印刷画面のプロパティを選択したときの表示が異なります)

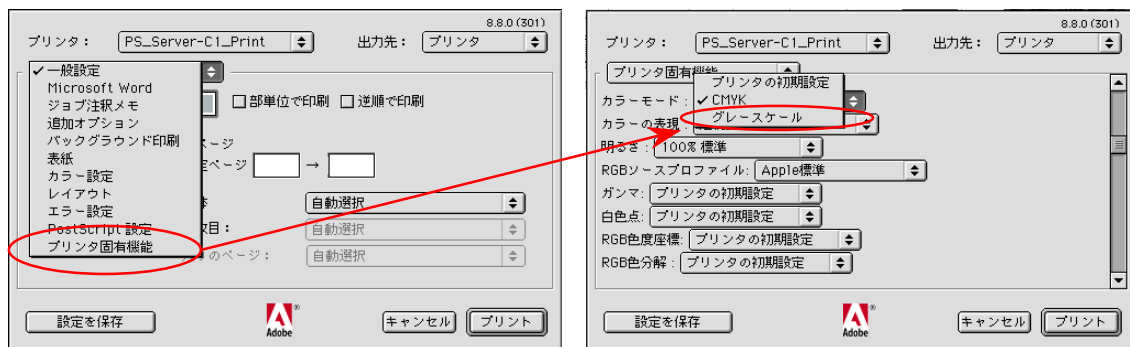
モノクロで印刷する場合の最適な印刷方法

Windows をお使いの場合(例 : Windows2000+Word2000)

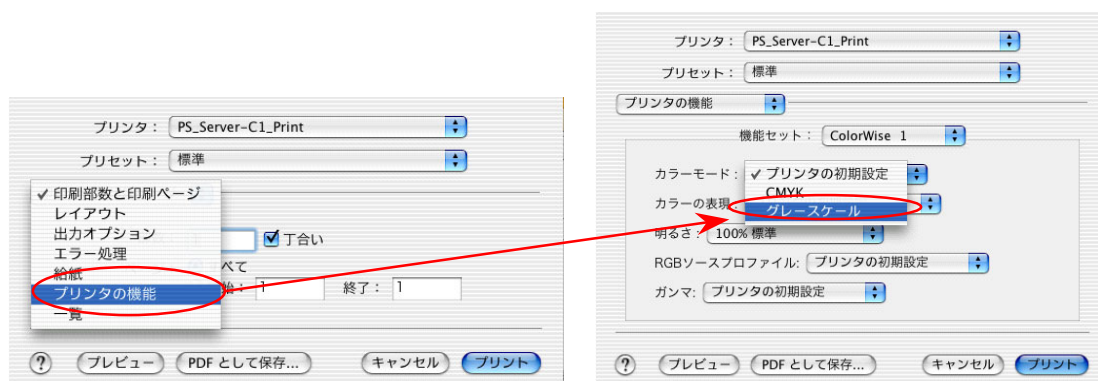
印刷画面で『プロパティ』を選択し、『Fiery 設定』 > 『Color Wise』 > 『印刷モード』で『標準カラー』から『グレースケール』にする



Macintosh をお使いの場合(例 : MacOS9.2+Illustrator9.02)



Macintosh をお使いの場合(例 : MacOS10.2+テキストエディット)



注意点 2 (カラー・モノクロページ混在 RGB データのモノクロ自動認識印刷)

カラーページ・白黒ページが混在している RGB データを、PostScript ドライバのデフォルト設定で印刷をすると、次のような場合は、白黒ページを自動判別できず、CMYK の 4 色のトナーを用いて印刷されることがあります。

1. 文書内のビットマップ画像(TIFF,BMP,JPEG や EPS データなど)、図、グラフ、表などが白黒であっても RGB データとして挿入してあるものを印刷する場合
2. 見た目が白黒画像であっても、下にカラー画像が隠れている場合

このことは、今までの PostScript 技術では、回避が不可能とされていました。

しかし、技術の進歩に伴い、最新のハードウェアと各機種固有の 100%GCR プロファイルを組み合わせるにより、解決が出来るようになりました。

ただし、この方法は、CMY の 3 色で表現するグレー成分を、K 単色に置き換える処理をする為、色の表現できる範囲が狭くなり、カラー写真画像やグラデーションには適さない場合がありますのでご注意ください。

対応機種としては、PS-NX650 以降の製品となります。

詳細につきましては、製品に同梱されている小冊子『カラープリンタをお使いのお客様へ』をご参照ください。

また、PS-NX400W 以前の製品については、カラーページ・白黒ページが混在している RGB データで、白黒ページを確実にモノクロ(白黒)で印刷したい場合は、申し訳ございませんが、カラーページと白黒ページを分けて、白黒ページを『注意点 1』の方法で印刷していただけますようお願いいたします。